

平成20年度 おおいた子ども・子育て応援県民会議委員名簿 及び 次世代育成支援のためのキーワード (1/3)

分野	機関等	氏名	キーワード		提言	備考
			①ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて	②地域における子育て支援の充実について		
福祉保健	大分県保育連合会	安東 知子	子育てする喜びを実感できる社会づくりの推進	地域子育て支援と保育所における地域福祉の推進	①保護者と保育所とのパートナーシップ構築の具体化に向けた検討と実施を行う。子どもや保護者の心に寄り添い支援を行い、子育て相談を行う保育士の専門性を高め、家族での子育て力のアップを図る。 ②地域子育て支援システムの構築を進める(一時保育や在宅子育て家庭への支援等)。地域のネットワーク強化を行い、地域における子どもの安全確保の活動への取組を行う。	
労働雇用	大分県中小企業団体中央会	衛藤 隆	仕事と子育てで家庭の再構築が必要	子育ては親と地域の両輪で育む必要がある。	・地域コミュニティーが壊れているので、地域コミュニティーの再構築が必要である。	
福祉保健	大分県児童養護施設協議会	衛藤 祐治	働く母親の負担を減らそう	地域の子育て力を高めよう	①社会の理解と夫の協力が不可欠、安心して子育てしながら働くことのできる社会づくり、夫や母親を取り巻く周囲の人が子育ての協力をする。 ②学童保育や児童館の充実、参加を希望する子ども達が全員参加できるようにする。	
労働雇用	大分労働局	大坪 史東	---	---		
教育	大分県小中学校長会協議会	小野 孝子	自立し共生し合う実践力の養成	地域の人はみな先生	①子どもの主体性を育てる。男女が共生できる社会の実現の一步として人権教育の推進を図る。 ②地域の持つ教育力を生かした地域ぐるみの子育ての推進を図る ・学校行事に地域が加わる、地域行事に学校が加わる、地域の人材活用	
教育	大分県PTA連合会	尾上 康子	生活環境のネットワークづくり	地域ネットワークの整備	①職場での子育て支援、乳幼児・就学児などの安心安全な受け入れ体制 ②子育てが困難な社会になり、また、家族構成も虚弱化している様に思える。地域や社会の支援が益々必要な中で、それぞれのネットワークづくりが必要と感じている。	
一般	公募委員	坂井 あかり	子どもがいるから、働ける	現場で悩む、子供達と親の気持ちを吐き出せる場作り	・子供は、「育てるもの」「養うもの」という上から目線ではなく、「親を育ててくれる」「家計を支えようと思わせてくれる」、独立した一人一人の貴重な存在だという意識変換 ・意識改革と制度改革を進めるために、今ある、民間から NPO、行政まで含めた様々な支援団体のネットワーク作りと、その活動の周知化 ・親側のストレス軽減のための、事業主主体による就業時間の見直しとメンタル面の支援	
一般	公募委員	佐藤 新太郎	家事・育児も立派な仕事。	子育て苦勞を体験せよ。	・大分県職員に「緩やかなパパ・クォータ制度」の導入；最近、育児休業を取得したいと思う若い男性の割合が増えた。が、実際の育休取得者はなかなか増えない。そこで、県庁の男性職員は率先して育児休業を取得し、男性の育休があたりまえと感ぜられるような雰囲気づくりに一役買っていただきたい。この休業期間は有給で扱うべきである。「取得しなければ損」と思える思い切った施策を講じなければならないからだ。「愛ある強制」で男性は一皮むける。大分県は“子育て先進国”になれる。	
労働雇用	大分県商工会議所連合会	柴田 文子	産休・育休の普及と経営者の率先した取り組み	施設の充実と利用者世代の拡充	①法的には整備が進んでいると思われるが、実際レベルでは利用は低いと思います。企業経営者が理解を示し、この制度を利用しやすい雰囲気作りに努め、有効に活用するために、女性会では勉強会を実施し、活動を推進していきたいと思います。 ②地域においては、世代を越えた取り組みをし、社会が一体となり子育ての支援が必要。特に年齢差に見られる子育ての不安要素を解消するためにも、あらゆる世代が集える場や機会を増やし、子ども達を育てる地域を作り上げることが肝要だと考えます。	
福祉保健	大分県青少年団体連絡協議会	竹上 紀代子	大人と子どもが協働する	地域の子どもは地域の宝	①家族が共通の趣味、スポーツを行う ②地域のイベントに親子で参加する ③「家庭の日」を定め順守する ④高齢者と子どもが交流する機会を増やす ⑤親の意識改革	
一般	公募委員	塚本 美穂	就労環境と生活環境の整備	地域で育む子育てネットワーク	①子育てを支援するには、安心して子育てできる就労環境と生活環境の整備が急務である。具体的には、経済的自立の促進や子どもを健やかに育てられる環境作りを充実させることがあげられる。 ②地域における子育て支援については、私たち一人一人が地域全体で子どもを育てるという意識を持ち、スポーツや伝統文化の活動、自然体験などを通して、世代間交流を図り、子育て支援のネットワークを構築する必要がある。	

平成20年度 おおいた子ども・子育て応援県民会議委員名簿 及び 次世代育成支援のためのキーワード (2/3)

分野	機関等	氏名	キーワード		提言	備考
			①ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて	②地域における子育て支援の充実について		
教育	大分県高等学校長協会	藤内 和子	支援制度等の学習と共有	地域資源(人、もの)の活用	①支援制度に対して職場及び社会全体として趣旨の共通理解と推進体制づくりが必要。また学校教育においても社会と家庭に関する学習の一層の充実を ②公民館を子育てサロンに	
労働雇用	大分県商工会連合会	中山 暁	いつも活き活き	子どもは地域の宝	①安心して子育てができる社会環境づくり ②子どもの健全育成	
一般	公募委員	橋本 純子	ほどよい頑張りとおみんなの子育て	相談会、いつでも話せる場所作り	①いろいろな立場の方が何に困っていて、何が必要か、みんなでじっくり本音で語り合う夜なべ談義の開催をする ②今の子育て支援の方法のメリット、デメリットの見直しをする ③県政の様々な部署のネットワークの見直しをするなど、今こそ様々な見直しと再生の必要性を感じている。特に、就学前から学童期などの移行期にどうその支援のあり方をつなげていくのかなどの工夫を考え直したらどうかと考える	
福祉保健	大分県社会福祉協議会	広瀬 通隆	一生涯から見る仕事と生活	地域力の充実	・一人ひとりの個性や特性を大切に共々に生き共に支え合う地域社会の実現が求められています。	
福祉保健	大分県医師会	藤本 保	家庭の団欒、仕事の充実	ヘルシースタートおおいたの推進	①医療従事者は自由時間が少なく、不規則勤務も多いが、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、法定時間内勤務の順守に努められるよう、地域での医療連携およびクリニカル・パスの導入等を推進し、効率的医療を目指します。 ②大分県医師会・産婦人科医会・小児科医会と行政の連携により実践したペリネイタルビジットをもとに、現在計画進行中のヘルシー・スタートおおいたの実現に向けて協力いたします。	
報道関係	大分合同新聞社	帆足 朋成	家族、地域、職場の理解と協力	お年寄りパワーの活用	①モデル事業の実施 ②先進事例の紹介	
学識経験者	大分大学	棕野 美智子	男性の働き方を変えよう	世代を超えたつながりを地域に	①男性が子育てと両立する働き方に変われば、職場の女性も子育てがしやすくなる。夫が子育てと両立する働き方に変われば、妻も仕事がしやすくなる。ワークライフバランスの実現はまず男性から。 ②高齢者も障がい者も子どもも、地域で暮らし地域で育つ。年齢や世代や障がいの有無を超えたユニバーサルなつながりを地域に。そのためには歩いて暮らせるまちづくりから。	
労働雇用	日本労働組合総連合会大分県連合会	森 小百合	時間と心のゆとりを持って子育てできる社会をつくろう	学童保育のさらなる充実のために地域の支え、行政の支援を	①県職員(公務員)が率先して超過勤務削減に向けた取組をし、それを大きく報道するなどして、家族との時間を大事にする雰囲気を県民全体に広げていく。 ②放課後児童クラブの実態調査をし、施設や指導員の配置等の状況を把握する。その上で行政の更なる支援をお願いしたい(女性が働き続けるための支援として、学童保育充実は欠かせないもの)。	
教育	大分県私立幼稚園連合会	渡辺 一恵	子どもの生きる力をはぐくむ幼稚園づくり	親と子が一緒に参加できる環境づくり	①親と子が共に自然体験できる場所探し ②幼稚園では遊びを中心とした生活の中で、また、遊びを通しての体づくり、思いやりを育てたい ③保護者同士、保護者と保育者が話し合える時間が十分とれる環境づくり	
学識経験者	大分大学	山岸 治男	家庭の温もりいい仕事	声かけ皆なで育てあい	①家庭生活と職業が両立する時間・給与・心のゆとりについて条件整備を検討しよう。 ②子どもが発する「問題サイン」は、家庭、地域、社会全体の問題サインであることを学び合おう。 ③私的・個人的自由や自己実現と他人や公への配慮について、バランスある行動文化を創り出そう。 ④話し合ったり考えたりしたことは、行動に出して適否を確かめよう。	

平成20年度 おおいた子ども・子育て応援県民会議委員名簿 及び 次世代育成支援のためのキーワード (3/3)

分野	機関等	氏名	キーワード		提言	備考
			①ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて	②地域における子育て支援の充実について		
福祉保健	大分県民生委員児童委員協議会	渡邊 麻里子	仕事はヘッド(head)で子育ては(heart)で	もう後がない、赤ちゃん応援団の意識改革	①就労している女性が「結婚・出産・子育て」で仕事やポストを失うことの無いよう配慮すること。 ②所属長をはじめ職場の方々が出産・子育ては、この国のためだと理解すること。 ③安心して子育てができるような環境づくりを地域のきずなで支え合って作りあげていくこと。 ④子どもや子育て真っ盛りのおかあさんの声に耳をかたむけて、仕事を続けられるシステムの改革に取り組むこと。	欠席
福祉保健	別府市	宇都宮 俊秀	地域子育て支援拠点事業の促進	放課後児童クラブの充実	①子育ての不安感の緩和、子どもの健やかな育ちを促進していく ②別府市は全小学校区に児童クラブを設置しており、今後は待機児童の解消や児童の精神面への配慮及び安全性の確保の観点から、大規模クラブの規模の適正化などを早急に行うことが課題となっている。	欠席
教育	大分県高等学校PTA連合会	長岡 美智恵	父親の子育て参加	まずは声かけ、挨拶から	①子どもが小さいときはもちろん思春期の子どもには父親の存在がとても大きい。夫婦で一緒に子育てし、子どもという二人の作品の成長を見守ることが必要 ②顔見知りになるにはまずは挨拶、地域の高齢者の方々に下校時のパトロールを是非自主的にお願いしたい。	欠席
労働雇用	大分県経営者協会	仙波 美鈴	多様な働き方による子育て世代の支援	一人ひとりが子育て応援団	①短時間勤務制度や男性の育児休暇制度など、就労と子育ての両立支援を図る。 ②地域の中の子育て世帯に目を向けて、手助けや相談を受けたりと健やかな子育てができるような環境を作ることが次世代育成の一歩だと思います。	欠席
学識経験者	立命館アジア太平洋大学	宇根谷 孝子	家庭と仕事の両立支援	地域活動による支援の充実	①幼少時から男女の固定的役割分担を押しつけない教育 ②学校教育において積極的に男女共同参画に関する教育 例;体験型参加型教育を通して ③高校生・大学生などが地域の子どもと触れ合う機会の提供 例;ボランティア活動、ベビーシッターなどを通して	欠席
学識経験者	社会保険労務士	橋本 順子	子育ても、仕事育ても職場から	子育て支援は、地域から	① 1.企業にとって、育児支援を行なうことは、有能な人材確保となりマイナスとはなりません。2.仕事にとっても、子育ての経験は、プラスとなります。3.育児休業制度の充実(育児休業給付率6割確保、男性の育児休業取得促進) 4. 育児・介護休業制度の充実とともに、自己実現長期休暇制度を検討する。 ② 1.子育ては、親の力、子の力、そして、子育てを支援する地域の力が必要です。2.集いの広場として、お年寄りと子供と一緒に過ごせる場所を確保する。3.地域住民が、集いの広場で働くことになれば、雇用の確保ともなります。	欠席
報道関係	㈱テレビ大分	岸田 吉正	三世代近居(?)と地域	よその子うちの子	①「仕事と生活の調和」の実現においては、就労時の子どもの世話は避けては通れない問題。一概には言えないが、理想を言えばやはり三世代同居あるいは、近郊に祖父母や親戚がいるのが望ましい。しかし、その条件が叶わないケースのほうが多く、「放課後児童クラブ」や「保育所」のさらなる充実が必要。これが子育てに大切な「地域」の役割も担う。 ②「よその子うちの子」。昔の地域関係のような社会が理想。昨今の世相では、このような社会の実現は不可能に近いほどの困難を極めるが、根本には親も地域の住民もこのような「文化と心」が必要。少しでも実現に近づけるためには保育所、学校での教育などを通じて、文化の啓蒙の必要あり。ハード面では前述のように「放課後児童クラブ」や「保育園」の体制やシステムなどの行政による再構築を含め検討の必要あり。	欠席
報道関係	大分朝日放送㈱	島田 啓一	「カムバック」シエーン(職場復帰支援)	同左	・出産休暇後、職場復帰しやすいように企業側に短時間勤務や残業無しといった制度の働きかけ、地域では保育所などの施設を充実させる。	欠席